

学習支援だより

～2014年冬号～

一般財団法人 学習能力開発財団 Lead



最近、Leadの教師たちは「ワーキングメモリ」という言葉と格闘中です。ワーキングメモリ・・・WISCの検査内でも一つの指標として大きく扱われていますが、情報を一時的に保ちながらそれを組み立てて操作する脳の仕組みのことです。学習支援においてこのワーキングメモリについて意識することは、とても有意義で可能性のあることだと考えています。

入ってきた情報をまずきちんと受け取るにはどうしたらいいか、それを頭の中で整理してストックしておくにはどうしたらいいか、そして吸収したことをここぞという時に発揮するためにはどうしたらいいか・・・

単に繰り返すとか、単に沢山やればいいのかという簡単なことではありません。その子の特性や学びやすさに合わせて、一人ひとり違った方法を考える必要があるのです。しかも、生徒さんが楽しめる方法を。

教師たち自身、今まさに勉強しながら試行錯誤しているところです。毎月行われている授業報告会では、毎回活発な意見が交わされています。熱意ある教師たちの知恵と経験と検証を重ねながら、効果の高い学習支援方法の一つでも多く見つけていきたいと思っています・・・！



＜現場の声 ～個別授業教師の報告より～＞

4コマ漫画を使って作文練習をしたところ、とても気に入っていくつも取り組んでくれた。作文に対する拒否感が薄くなったのか、その後の実力テストではいつもより作文が書けたらしい。

(中2)

読解力をつけるために、絵本を取り入れている。一通り読んでから内容について簡単な質問をしたり、その後の物語を想像してもらうと集中力も高まるようだ。

(小3)

生徒さんに問題を作ってもらおうととても意欲的にいい問題を作ってくれる。やはり勉強を「させられている」のではなく、主体的に学べる方法を取り入れることが大切だと感じる。

(小5)

最近、授業でやりたいワークや本を持ってくるようになった。自分で志望校についても調べており随分前向きになってきたなど嬉しく思っている。

(中1)

一般財団法人 学習能力開発財団 Lead

仙台市定禅寺通りにある、特別なニーズに対応する学習支援団体です。発達障害のあるお子さまへの学習支援、遺児支援などを行っています。アセスメントのための授業など、お問い合わせはお気軽にどうぞ。

電話：0120-001-296

メール：info@lead.or.jp